

新国立劇場 2021/2022 シーズンオペラ

R. シュトラウス

# ばらの騎士

Der Rosenkavalier

2022年4月3日(日)~4月12日(火)

会場:新国立劇場オペラパレス 2022年2月20日(日)前売開始



2017年公演より

## 愛の陶酔と別れ。この上なく優美な音楽が綴る、甘美な憂愁

ウィーン上流社会を舞台に、過ぎゆく時への想いや若く新しい愛を優美で豊麗な音楽で描いた絢爛豪華な人気作『ばらの騎士』。劇作家ホフマンスタールとR.シュトラウスの名コンビによる最高傑作で、あらゆるオペラの中でも最も贅沢で美しく、中でも第2幕の“銀のばら”の献呈シーン、終幕の女声三重唱は、観るものを陶酔の世界へ引き込む決定的な名場面です。

## 名匠 J.ミラー演出の豪華な名舞台。アンネット・ダッシュの元帥夫人デビューなど必見の布陣

英国の演出家ジョナサン・ミラー演出のプロダクションは、ウィーンの香気漂う豪華な舞台で、諦念と未来への希望を成熟したタッチで描き出し、新国立劇場でも抜群の人気を誇るレパートリー。世界トップソプラノとして活躍し、新国立劇場へ14年ぶりの登場を果たすアンネット・ダッシュは元帥夫人役にロールデビュー、世界のオペラファンの注目の的。妻屋秀和、安井陽子、加納悦子、与那城敬、森谷真理、宮里直樹と国内トップ歌手陣も集結。指揮はウィーン出身のサッシャ・ゲッツェルが新国立劇場デビューを飾ります。

\* 新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を講じた新時代の生活様式に基づき、演出の一部を変更して上演します。

\* 招聘キャスト、指揮者につきましては、出入国制限の状況により変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

< 資料・写真のご請求、ご取材のお問い合わせ >

新国立劇場 制作部オペラ 広報担当 高梨木綿子

Tel:03-5352-5733/Fax:03-5352-5709/E-Mail: takanashi\_y2525@nntt.jac.go.jp

## 絢爛豪華なウィーンの煌めきと移ろう時への想い。数あるオペラの中で最も美しい決定的名作

ウィーン上流社会を舞台に、美しく気高い元帥夫人と若い愛人の情事、刻々と経過する時間と衰えゆく美貌への想い、やがて結ばれる若い二人への祝福を描いた傑作『ばらの騎士』。数多あるオペラの中でも最も贅沢で美しく、甘美な憂愁に満ちた、リヒャルト・シュトラウスの代表作です。各幕のワルツや、婚約の印の「銀のばら」贈呈シーンの二重唱(第2幕)、終幕の女声三重唱「私が誓ったことは」など聴きどころ、見どころが続き、観る者を陶酔の世界へ引き込んで片時も放しません。

### 名匠ジョナサン・ミラーが描き出す、豪奢でありながら儂い時代の空気

英国の誇る名演出家ジョナサン・ミラーの演出は細やかな人物描写に優れ、時代を台本の18世紀から『ばらの騎士』世界初演1年後の1912年に移して、当時の聴衆が感じていた「時代の移ろい」の感覚をも作品から引き出しています。時代変動直前の貴族たちの優雅な館を登場させた視覚的にも美しい奥行きある舞台で、諦念と未来への希望が成熟したタッチで見事に描かれる様は、オペラの醍醐味そのもの。新国立劇場の数あるレパートリーの中でも抜群の人気を誇ります。

### A.ダッシュの元帥夫人に国内トップ歌手たちの豪華競演

元帥夫人には、バイエルン州立歌劇場、ミラノ・スカラ座、メトロポリタン歌劇場、パイロイト音楽祭などで世界トップソプラノとして活躍するアンネッテ・ダッシュが登場、元帥夫人役のロールデビューを果たします。新国立劇場へは03年『ホフマン物語』アントニア、08年ニューイヤー・オペラパレス・ガラ以来、オペラファンが待ちに待った出演です。

日本のトップ歌手として獅子奮迅の活躍を見せる妻屋秀和のオックス男爵、2011年公演でも大絶賛を博した安井陽子のゾフィー、小林由佳の得意役オクタヴィアン、さらに、加納悦子、与那城敬、森谷真理、宮里直樹と実力派たちが集結する鉄壁の布陣となりました。指揮には、ウィーン出身でウィーン国立歌劇場の『ばらの騎士』も指揮、日本のファンも多いサッシャ・ゲッツェルが新国立劇場デビューを飾ります。

### <『ばらの騎士』ものがたり>



【第1幕】陸軍元帥夫人マリー・テレーズは、夫が不在の館で、若い恋人オクタヴィアンと甘いまどろみのなか朝を迎える。そこに元帥夫人の従兄オックス男爵がやってくる。新興貴族ファーニナルの娘ゾフィーと婚約するというオックスは、婚約者に銀のばらを贈る儀式の使者「ばらの騎士」を誰にしたらいいか相談しに来たのだ。逢瀬の現場を見られてはまずいと大慌ての2人だが、もう逃げられず、オクタヴィアンはかわいらしい小間使いマリヤンデルに変装。女たらしのオックスは元帥夫人に相談しながらも

小間使いが気になる様子。元帥夫人はオクタヴィアンを「ばらの騎士」に推薦する。その後、元帥夫人はひとり思いにふけり、年齢を重ねることの無常を思う。

【第2幕】「ばらの騎士」としてゾフィーに銀のばらを届けに来たオクタヴィアンは、一目で彼女と恋に落ちてしまう。オックス男爵が現れるが、彼のあまりにも無作法な態度にゾフィーは結婚を嫌がり、オクタヴィアンは婚約を取り消すようオックスに申し出る。しかしオックスが相手にしないため、オクタヴィアンは剣を抜く。オックスも剣を手取るが、すぐにオクタヴィアンの剣の先が腕に当たる。負った傷はほんのかすり傷だが、オックスは泣きわめいて大騒ぎ。そこにマリヤンデルから逢引の誘いの手紙が来て、オックスはすっかりご機嫌に。



【第3幕】逢引の場の安宿の一室には、オックスを懲らしめるための罠を仕込み、オクタヴィアンはマリヤンデルに変装して準備万端。何も知らないオックスは浮足立ってやってきて「彼女」を口説こうとするが、いい雰囲気になろうというとき、幽霊が現れ、「彼の子」と称する子を連れ去った女や、警官が来て大騒動。すっかり追い詰められたオックスは婚約を破談にすることを了承する。そして元帥夫人は身を引く、オクタヴィアンとゾフィーを祝福する。

### <主要キャスト・スタッフプロフィール>

#### 【指揮】サッシャ・ゲッツェル

Sascha GOETZEL

ウィーン生まれ。ウィーン国立歌劇場管弦楽団にてヴァイオリン奏者として活躍中、メータ、ヤンソンス、小澤征爾らの薫陶を受けた。小澤征爾より、指揮者のフェローシップとしてタンゲルウッド音楽祭に招かれた後、指揮をヨルマ・パヌラに師事。2008年よりボルサン・イスタンブール・フィルハーモニー管弦楽団(BIFO)の芸術監督並びに首席指揮者。オペラでは、ウィーン国立歌劇場にて14年秋に大成功を収めた『フィガロの結婚』によるデビューに続き、『ドン・ジョヴァンニ』『ばらの騎士』『リゴレット』『ラ・ボエーム』『魔笛』『こうもり』などで定期的に出演。これまでに、イスラエル・フィル、バーミンガム市交響楽団、ハノーファー北ドイツ放送フィル、フランス国立管弦楽団、ベルリン交響楽団などに客演。国内では、NHK交響楽団、紀

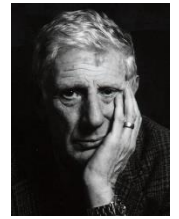


尾井シンフォニエッタ、東京フィルハーモニー管弦楽団、読売日本交響楽団などで来日している。新国立劇場初登場。

### 【演出】ジョナサン・ミラー

Jonathan MILLER

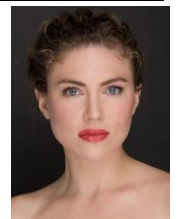
ロンドン生まれ。医学博士、作家、テレビプロデューサー、演劇・オペラの演出など幅広い分野で国際的に活躍。演劇演出家として、ロイヤル・シェイクスピア・カンパニーの『ヴェニスの商人』『じゃじゃ馬馴らし』や、1988年から90年まで芸術監督を務めたオールドヴィック劇場での『リア王』、80年からBBCが制作したシェイクスピアシリーズなど、シェイクスピア作品の演出で高い評価を得る。オペラ演出は74年のアレクサンダー・ゲアーの『Aeden Must Die』イギリス初演に始まり、その後もイングリッシュ・ナショナル・オペラなどで活躍、『ミカド』『リゴレット』『ねじの回転』『ばらの騎士』『カルメン』などで大成功を収める。また、ミラノ・スカラ座、メトロポリタン歌劇場、ベルリン州立歌劇場、ウィーン国立歌劇場、英国ロイヤルオペラ、ザルツブルク音楽祭など世界各地で活躍している。新国立劇場では『ファルスタッフ』『ばらの騎士』を演出。2019年11月逝去。



### 【元帥夫人】アンネッテ・ダッシュ(ソプラノ)

Annette DASCH

世界各地の歌劇場や音楽祭で活躍する、今日をリードするソプラノ。近年の重要な役に、ミラノ・スカラ座、ベルリン州立歌劇場、バイエルン州立歌劇場『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・エルヴィーラ、英国ロイヤルオペラ、テアトロ・レアル、シャンゼリゼ劇場、メトロポリタン歌劇場、フランクフルト歌劇場『フィガロの結婚』伯爵夫人、ザルツブルク音楽祭『アルミーダ』タイトルロール、ベルリン・ドイツ・オペラ『ファルスタッフ』アリーチェ、パリ・オペラ座『ホフマン物語』アントニア、フランクフルト歌劇場、バイエルン州立歌劇場『タンホイザー』エリザベート、バイロイト音楽祭、スカラ座、バイエルン州立歌劇場、リセウ大劇場、フランクフルト歌劇場『ローエン格林』エルザ、メトロポリタン歌劇場『ニュルンベルクのマイスタージンガー』エーファ、オランダ国立オペラ『イエスーファ』タイトルロール、同『最初の人類』シャーヴァ、パリ・オペラ座『リア』コーディリア、チューリヒ歌劇場、エクサンプロヴァンス音楽祭『マハゴニー市の興亡』ジェニー、ベルリン・ドイツ・オペラ、ウィーン国立歌劇場、バイエルン州立歌劇場『こうもり』ロザリンデがある。デビューCD「アルミーダ」(エコー・クラシック賞受賞)、「モーツァルト・アリア」のほか、バイロイト音楽祭『ローエン格林』、ザルツブルク音楽祭『フィガロの結婚』『ドン・ジョヴァンニ』、ドイツ・パロック・リーダー『ゲノフェーファ』、キュヴィリエ劇場『イドメネオ』、ウィーン・フィルハーモニー交響楽団「第九」など録音・映像も多い。新国立劇場へは、03年『ホフマン物語』アントニア及び08年のニューイヤー・オペラパレス・ガラに出演して以来、待望の登場となる。



### 【オックス男爵】妻屋秀和(バス)

TSUMAYA Hidekazu

東京藝術大学卒業、同大学大学院オペラ科修了。1994~2001年ライブツィヒ歌劇場、02年~11年ワイマールのドイツ国民劇場専属歌手。これまでにベルリン・ドイツ・オペラ、ベルリン州立歌劇場、ライン・ドイツ・オペラ、スコティッシュ・オペラなどに出演。欧州、日本でモーツァルト、ロッシニ、ヴェルディ、プッチーニ、ワーグナー、R.シュトラウス等のオペラの主要な役を80役以上演じており、新国立劇場では『ラ・ボエーム』コッリーネ、『ドン・ジョヴァンニ』騎士長、『セビリアの理髪師』ドン・バジリオ、『アイダ』ランフィス、『ナブッコ』ベルの祭司長、『夜叉ヶ池』鉢蔵、『リゴレット』スパラフチーレ、『ヴォツェック』医者、『アラベッラ』ヴァルトナー伯爵、『ドン・カルロ』宗教裁判長、『マノン・レスコー』ジェロント、『ばらの騎士』警部、『ラインの黄金』ファフナー、ファーゾルト、『魔笛』ザラストロ、『ルチア』ライモンドなど出演多数。20/21シーズンは『夏の夜の夢』クインス、『フィガロの結婚』バルトロ、『イオランタ』ルネ、『カルメン』スニガに出演。21/22シーズンは『ニュルンベルクのマイスタージンガー』ハンス・フォルツ、『さまよえるオランダ人』ダーラントに出演したほか、『ペレアスとメリザンド』アルケルにも出演予定。二期会会員。



### 【オクタヴィアン】小林由佳(メゾソプラノ)

KOBAYASHI Yuka

国立音楽大学卒業、同大学院修了。二期会オペラスタジオ修了。文化庁派遣芸術家在外研修員としてイタリアに留学。二期会『ナクソス島のアリアドネ』作曲家役での端正な舞台姿と高い歌唱力が評価され、その後『蝶々夫人』スズキ、『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・エルヴィーラ、『イドメネオ』イダマンテ、『ホフマン物語』ミューズ/ニクラウス、『ばらの騎士』オクタヴィアンなどに出演。2019年にはサントリーホール サマーフェスティバルで大野和士指揮『リトゥン・オン・スキン』(日本初演)天使Ⅱ・マリア役を務める。その他、『フィガロの結婚』ケルビーノ、『ドン・カルロ』エポリ公女、『リゴレット』マッダレーナ、『カルメン』タイトルロール、『ブリーカー街の聖女』デジデーリア、『パルジファル』小姓、などを演じている。新国立劇場では『沈黙』少年、『魔笛』侍女Ⅱ、『アイダ』巫女、『ルチア』アリーサ、『椿姫』フローラ、『夏の夜の夢』ヒポリタ、鑑賞教室『蝶々夫人』ケート/スズキ、鑑賞教室・関西公演『フィガロの結婚』ケルビーノに出演している。さくらがわ応援大使(茨城県桜川市)。二期会会員。



### 【ファーニナル】与那城 敬(バリトン)

YONASHIRO Kei

桐朋学園大学ピアノ専攻卒業、同大学研究科声楽専攻修了。新国立劇場オペラ研修所第5期修了。文化庁派遣芸術家在外研修員としてミラノに留学。第18回奏楽堂日本歌曲コンクール第1位。これまでに『エウゲニ・オネーギン』タイトルロール、『ラ・ボエーム』マルチェッロなどに出演。新国立劇場では平成21年度芸術祭祝典『メリー・メリー・ウィドウ』ダニロ、『愛の妙薬』ベルコーレ、『鹿鳴館』影山悠敏伯爵、『沈黙』フェレイラ、『道化師』シルヴィオ、『ニュルンベルクのマイスタージンガー』コンラート・ナハティガル、演奏会形式『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロールに出演。二期会会員。



**【ソフィー】安井陽子(ソプラノ)**

YASUI Yoko

桐朋学園大学卒業、同大学研究科修了。二期会オペラ研修所第43期マスタークラス修了。文化庁在外研修員としてウィーンに留学、ウィーン国立音楽大学研究課程声楽科修了。クラゲンフルト市立劇場のヘンツェ『若き貴族』イーダで欧州デビュー。同国フォアアールベルク音楽劇場『魔笛』夜の女王、ブレゲンツ音楽祭およびザンクト・ベルテン音楽祭でオッフェンバック『青ひげ』小姓、ロザリンデに出演し高い評価を受ける。国内では08年東京二期会『ナクソス島のアリアドネ』ツェルビネッタで本格デビュー。新国立劇場では『魔笛』夜の女王、『ジークフリート』森の小鳥、『鹿鳴館』顕子、『ばらの騎士』ソフィー、『アラベッタ』フィアッカミツリ、『ファルスタッフ』ナンネッタ、『ホフマン物語』オランピア、バレエ『カルミナ・ブラーナ』ソプラノ・ソリストなど数多く出演。コンサートでも、ヘンデル「メサイア」、ハイドン「天地創造」、「四季」、モーツァルト「レクイエム」、ベートーヴェン「第九」、メンデルスゾーン「エリア」、ブラームス「ドイツ・レクイエム」、フォーレ「レクイエム」、マーラー「交響曲第4番」、「千人の交響曲」、ゴリホフ「3つの歌—ソプラノと管弦楽のための」(日本初演)などのソリストとして幅広く活躍している。二期会会員。

**【マリアンネ】森谷真理(ソプラノ)**

MORIYA Mari

武蔵野音楽大学音楽学部声楽学科卒業、同大学院声楽専攻首席卒業後、渡米シマネス音楽院修了。世界各地のコンクールにて優勝、受賞歴多数。専属歌手を務めたリンツ州立劇場をはじめ、ウィーン・フォルクスオーパー、ライプツィヒ歌劇場など欧米の主要歌劇場で『マリア・ストゥアルダ』『椿姫』タイトルロール、『カルメン』ミカエラ、『トゥーランドット』リユーなどで活躍。2006年には『魔笛』夜の女王役でメトロポリタン歌劇場デビューを飾り、一躍注目を集めた。国内では14年びわ湖ホール『リゴレット』ジルダで日本でのオペラデビューを飾った後、東京二期会『ばらの騎士』元帥夫人、『サロメ』『蝶々夫人』『ルル』タイトルロール、びわ湖ホール『ローエングリン』エルザ、日生劇場『後宮からの逃走』コンスタンツェなどを演じ、卓越したテクニックと表現力で目覚ましい活躍を見せている。国内外の著名指揮者および主要オーケストラとの共演も多く、ベートーヴェン「第九」をはじめ、モーツァルト／ヴェルディ「レクイエム」等のソリストを務め、高い評価を得ている。19年には「天皇陛下御即位を祝う国民祭典」にて国歌独唱を務めた。小山評定ふるさと大使。とちぎ未来大使。下総院一音楽賞受賞。新国立劇場では21年『カルメン』フラスキータに出演している。

**【ヴァルツァッキ】内山信吾(テノール)**

UCHIYAMA Shingo

武蔵野音楽大学卒業、同大学大学院修了。第36回日伊声楽コンクール入選。ドイツのブラウンシュヴァイク歌劇場で数多くの公演に出演。これまでに『蝶々夫人』ピンカートン、『カルメン』ドン・ホセ、『椿姫』アルフレードなどを演じている。新国立劇場では『マクベス』マルコム、『蝶々夫人』ゴロー、『ムツェンスク郡のマクベス夫人』ジノーヴィー・ボリゾヴィチ・イズマイロフ、『オテロ』ロデリーゴ、『ナブッコ』アブダッロ、『ばらの騎士』ヴァルツァッキ、『イオランタ』ヴォデモン伯爵、高校生のためのオペラ鑑賞教室『蝶々夫人』ゴローなど数多く出演、個性的な役柄で特に好評を博す。東京オペラ・プロデュース会員。足利オペラ・リリカ登録専属アーティスト。

**【アンニーナ】加納悦子(メゾソプラノ)**

KANOH Etsuko

東京藝術大学、同大学大学院を修了後、ケルン音楽大学で声楽を学ぶ。ケルン歌劇場専属歌手として『フィガロの結婚』ケルビーノ、『蝶々夫人』スズキなど40以上の演目出演。国内ではNHK交響楽団などとの共演や、二期会、びわ湖ホールオペラなどで活躍、びわ湖ホール『ワルキューレ・トリスタンとイゾルデ』フリッカブランゲーネ、東京二期会『ホフマン物語』ミューズ／ニクラウス、びわ湖ホール・神奈川県民ホール『ワルキューレ』フリッカ、東京二期会『トリスタンとイゾルデ』ブランゲーネなどで高い評価を得る。新国立劇場では『ホフマン物語』ニクラウス／ミューズ、『魔笛』侍女Ⅱ、『ばらの騎士』アンニーナ、『ルサルカ』料理人の少年、『ピーター・グライムズ』セドリ夫人、『サロメ』ヘロディアスの小姓、『セビリアの理髪師』ベルタ、『神々の黄昏』ヴェルグンデ、『アルマゲドンの夢』インスペクターなどに出演している。2013年10月には文化庁芸術祭オープニング公演でエルガー『海の絵』を独唱して、高い評価を得た。ソロCD「メアリスチュアート女王の詩」(ALM RECORDS)は13年度レコードアカデミー賞声楽部門受賞。「ドイツ・バロック歌曲」演奏会の成果などにより令和元年度芸術選奨文部科学大臣賞受賞。二期会会員。

**【テノール歌手】宮里直樹(テノール)**

MIYASATO Naoki

東京藝術大学首席卒業。同大学大学院修了。第48回日伊声楽コンクール第1位第10回東京音楽コンクール声楽部門第2位(1位なし)、同時に聴衆賞等受賞多数。2014年度明治安田クオリティオブライフ文化財団の海外音楽研修生として渡欧、ウィーン国立音楽大学にて2年間学ぶ。2015年度ローム・ミュージック・ファンデーション奨学生。これまでに秋山和慶、小泉和裕、小林研一郎、尾高忠明など著名指揮者のもとNHK交響楽団、読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団を始め国内主要オーケストラと共演。2017年10月に二期会公演『蝶々夫人』ピンカートン役で二期会デビューし大好評を博す。20年には東京芸術劇場／全国共同制作プロジェクト『ラ・トラヴィアータ(椿姫)』にアルフレードで出演し、喝采を浴びた。パッハ『マニフィカト』、『ロ短調ミサ』、ヘンデル『メサイア』、モーツァルト『戴冠ミサ』、ハイドン『天地創造』、ベートーヴェン『第九』等コンサートのソリストとしても活躍している。二期会会員。新国立劇場初登場。



新国立劇場 2021/2022 シーズンオペラ  
R. シュトラウス **ばらの騎士**  
Richard STRAUSS / Der Rosenkavalier  
全3幕〈ドイツ語上演/日本語及び英語字幕付〉

【公演日程】2022年4月3日(日)14:00/6日(水)18:00/9日(土)14:00/12日(火)14:00

【会場】新国立劇場 オペラパレス

【チケット料金】S:24,200円・A:19,800円・B:13,200円・C:7,700円・D:4,400円・Z:1,650円

【前売開始】2022年2月20日(日)

※新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を講じた新時代の生活様式に基づき、演出の一部を変更して上演します。

※招聘キャスト、指揮者につきましては、出入国制限の状況により変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

※オックス男爵役に出演を予定していたクリスティン・ジクムントソンは、健康上の理由により出演できなくなりました。また、オクタヴィアン役に出演を予定していたマリア・カターエワは、本人の都合により出演できなくなりました。このため以下のとおり出演者を変更して上演致します。

指揮	サッシャ・ゲッツェル	元帥夫人	アンネッテ・ダッシュ
Conductor	Sascha GOETZEL	Die Feldmarschallin	Annette DASCH
演出	ジョナサン・ミラー	オックス男爵	妻屋秀和
Production	Jonathan MILLER	Der Baron Ochs auf Lerchenau	TSUMAYA Hidekazu
美術・衣裳	イザベラ・バイウォーター	オクタヴィアン	小林由佳
Set and Costume Design	Isabella BYWATER	Octavian	KOBAYASHI Yuka
照明	磯野 睦	ファーニナル	与那城 敬
Lighting Design	ISONO Mutsumi	Herr von Faninal	YONASHIRO Kei
再演演出	三浦安浩	ゾフィー	安井陽子
Revival Director	MIURA Yasuhiro	Sophie	YASUI Yoko
舞台監督	高橋尚史	マリアンネ	森谷真理
Stage Manager	TAKAHASHI Naohito	Marianne	MORIYA Mari
		ヴァルツァッキ	内山信吾
		Valzacchi	UCHIYAMA Shingo
		アンニーナ	加納悦子
		Annina	KANO Etsuko
		警部	大塚博章
		Ein Polizeikommissar	OTSUKA Hiroaki
		元帥夫人の執事	升島唯博
		Der Haushofmeister bei der Feldmarschallin	MASUJIMA Tadahiro
		ファーニナル家の執事	濱松孝行
		Der Haushofmeister bei Faninal	HAMAMATSU Takayuki
		公証人	晴 雅彦
		Ein Notar	HARE Masahiko
		料理屋の主人	青地英幸
		Ein Wirt	AOCHI Hideyuki
		テノール歌手	宮里直樹
		Ein Sänger	MIYASATO Naoki
		帽子屋	佐藤路子
		Eine Modistin	SATO Michiko
		動物商	土崎 譲
		Ein Tierhändler	TSUCHIZAKI Joe
合唱指揮	三澤洋史		
Chorus Master	MISAWA Hirofumi		
合唱	新国立劇場合唱団		
Chorus	New National Theatre Chorus		
児童合唱	多摩ファミリーシンガーズ		
Children Chorus	Tama Family Singers		
管弦楽	東京フィルハーモニー交響楽団		
Orchestra	Tokyo Philharmonic Orchestra		
芸術監督	大野和士		
Artistic Director	ONO Kazushi		

公演情報 WEB サイト <https://www.nntt.jac.go.jp/opera/derrosenkavalier/>

【チケットのご予約・お問い合わせ】新国立劇場ボックスオフィス TEL:03-5352-9999 (10:00~18:00)

新国立劇場Webボックスオフィス <http://pia.jp/nntt/>

【チケット取り扱い】チケットぴあ、イープラス、ローソンチケットほか

\* 乙席 1,650 円：公演当日朝 10 時より、新国立劇場 Web ボックスオフィスほかで販売。1 人 1 枚。電話予約不可。

\* 当日学生割引(50%)、ジュニア割引(20%)、高齢者割引、障害者割引、学生割引、当日学生割引(50%)など各種割引あり。\* 未就学児入場不可。

\* 新国立劇場における新型コロナウイルス感染拡大予防への取り組みと主催公演ご来場の皆様へのお願い  
[https://www.nntt.jac.go.jp/release/detail/23\\_017576.html](https://www.nntt.jac.go.jp/release/detail/23_017576.html)

本公演はレパトリー作品です。過去の上演の舞台写真を宣材としてご提供致します。



【1】



【2】



【3】



【4】



【5】



【6】



【7】



【8】

新国立劇場『ばらの騎士』2017 年公演より 撮影：寺司正彦